

ひしのみだよ！

平成31年1月 8日発行

発行責任者 千住由一朗

新しい年がスタートしました！

“新年明けましておめでとうございます” 本年も子どもたち、そしてご家族の皆様にとって素晴らしい一年となりますことを職員一同心からお祈り申し上げます。

ひしのみこども園では、116名の子どもたちと32名の職員で、希望と夢が詰まった新春を迎えました。どうぞ本年もこれまでとかわりないご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

三学期は、一年間の大切な締めくくりの時期となります。これから進級や小学校入学に向けて、一人一人の夢と期待に寄り添いながら実りある三学期になりますように、充実した日々を重ねていきたいと思ひます。



毛利先生ご結婚のお知らせ！

この度、もも組担任の毛利友香先生が結婚されました。それに伴い、『安藤 友香』と改姓されました。

どうぞ職員のご結婚を良い機会として、家庭、家族、親と子、親族など家庭の成り立ち等を、お子様共々、話題にさせていただくことになれば幸いです。



「思考力の芽生え」の幼児期の終わりまでに育てほしい姿とは！

「思考力の芽生え」とは、“身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。”と示されています。

(例)

- ・身近な環境に積極的に関わり、自分から気付いたり、発見を楽しんだり、考えたり、振り返ったり、それを別のところで活用したりするようになる。
- ・様々な環境に関わる中で、より興味を抱き、不思議に思ったことなどを探究するようになる。
- ・遊びが深まる中で、多様な関わりを楽しみ、予想したり、確かめたり、振り返ったりして興味や関心を深めるようになる。
- ・友達などの様々な考えに触れる中で、自分に必要な考えを選んだり、新しい考えを生み出す喜びや味わいを感じたりするようになる。
- ・物との多様な関わりの中で、物の性質や仕組みについて自分なりに考えたり気付いたりするようになる。また、物の特性や仕組みを生かしたり工夫したりして使うようになる。

幼児期は、友達との関わりの中で考えたり、さらに工夫したりする経験を積み重ねていけるといいです。また、子どもが自ら考えることができるよう、大人が先回りをしすぎないように。

